



人と人、知と知をむすんで、

豊かな看護を創造します。

Unification

看護連携型ユニフィケーション

島根県立中央病院 看護局

島根県立こころの医療センター 看護局

島根県立大学看護栄養学部 看護学科

島根県立中央病院 副院長・看護局長 伊藤 千加子

少子超高齢化社会においては地域包括ケアシステムの構築の実現に向け、看護職に求められる役割は多様化しています。急性期を担う病院においても、患者さんの生活に視点を置いた看護の提供が必要であり、患者さんのニーズに応じた看護を論理的な思考と正確な看護技術を基盤に実践する能力や、多職種と連携・調整する能力などが求められています。さらに今後ますます看護職の役割拡大が期待される中、私たちは主体的に学び、自身の能力開発に取り組む必要があり、そのためには、看護教育機関との連携は不可欠と考えます。看護連携型ユニフィケーションにおける島根県立大学看護栄養学部との教育連携で、ケアの質の改善や良質な学生教育、臨床研究の促進を目指し、社会の変化に対応し期待される役割を果たせる看護師の育成に努めていきたいと思ひます。



島根県立こころの医療センター 看護局長 多久和かおり

精神疾患を有する患者数は増加し続けています。精神科領域においても地域包括ケアシステムの構築が進められ、看護師に求められるニーズも多様化しています。専門的知識・技術・倫理観に加えて、未来を見据えた保健医療システムにも対応していく力が求められます。当院の教育理念である「専門職業人として科学的・創造的・主体的に質の高い看護を提供する」ために、共に研修することで理論的な視点が加わり、さらなる質の向上が図れると考えます。ユニフィケーションの理念はこの統合にあり、双方のよりよい連携が図れるように努めたいと思ひます。



島根県立大学看護栄養学部 看護栄養学部長 梶谷みゆき

島根県立大学看護学部看護学科が平成24年度に開設され、さらに平成30年度には健康栄養学科を開設して看護栄養学部になりました。看護学科の教育課程は看護実践力の強化と地域課題に対応できる基礎力を身につけることを特徴としています。これらの教育を展開していくためには、看護教育に携わる教員はもとより学生にとっても、臨床現場との密接かつ有機的な連携が必要であると考えます。それは看護連携型ユニフィケーション事業の主旨とも重なり、次世代の看護職を育成する上で有用な体制と考えています。この事業では、看護現場と教育現場とで看護基礎教育や継続教育について検討したり、看護職や教員がそれぞれの実践力を高める環境づくりに寄与したいと考えています。看護現場や看護基礎教育の現場は、地域医療の拡充や人口構造の変化などの社会情勢の影響を受け、日々新たな課題に直面しています。本事業により、看護職や教員がそれぞれの立場で意見交換し実践することで抱えている課題の解決を図りながら、次世代の看護人材育成に寄与したいと考えています。



背景

看護学は実践の学問であり、教育と看護実践は不可分の関係にあります。教員が臨床から離れて教育に従事しているため、臨床と教育の乖離を生じ易くなっています。一方、医療を取り巻く環境が目まぐるしく変化していく中で、質の高い看護実践や情報提供など社会の人々の看護職に対する期待が高まっています。殊に、新卒者の看護実践能力の向上が重要課題となっています。そのようななかで、臨床と教育の乖離を解消し、看護教育ならびに臨床看護の質の向上を図っていくために、看護の実践と教育・研究の連携がますます重要なこととなっています。

臨床と教育の乖離という問題に対して、米国の看護教育における取り組みを発端に、1980年代以後、わが国においてユニフィケーションという言葉が現れ始めました。ユニフィケーションの用語の意味は、本来、統合・統一・単一化です。異なる組織が手をつなぎ、目的とする看護の質の向上に取り組んでいくものです。日本においても、高知女子大学（現 高知県立大学）および高知医療センター、茨木県立医療大学および附属病院をはじめとして実施され、広がりを見せています。

目的

島根県立病院と島根県立大学看護栄養学部が協働することで、看護の実践・教育・研究が有機的に連携し、看護ケアの質の向上・看護実践教育の質の向上、臨床に根差し看護共同研究を発展させ、両施設・機関の機能の向上を図ります。

期待される効果

活動は、これまで臨地実習が中心であった両者の関わりを、現場にある様々なリアリティをもった問題に関わる意見交換にまで高め、学び合うことが期待できます。期待される効果として、看護ケアおよび実習の質の向上、臨床スタッフの継続教育の充実、看護教育と臨地実習のズレの解消、臨床に即した教育の貢献につながると考えています。

具体的な活動

1. 看護の学習会に関すること
臨床現場で課題となっている事柄や事例について、臨床と教育の場が連携して、看護職に対する学習会や事例検討会、看護学生に対する学習会を開催していきます。互いに学び合い、看護実践能力および看護教育の質の向上に活かします。
2. 患者や家族のケアに関すること
実践現場と教育機関が連携して、質の高い看護サービスの提供や看護技術のエビデンスを蓄積していく必要があります。相互に話し合い、企画・立案した看護ケアを、看護教員も患者さんや家族に対して病棟や外来で実践していきます。
3. 看護教育に関すること
看護教育の中で、看護実践能力の育成に関わるプログラム等において、臨床と教育の場が連携して、エビデンスに基づく最新の看護方法を教授し、看護実践教育の質の向上を図ります。
4. 看護研究に関すること
臨床に根差した看護研究を共同で実施していきます。



現職者の教育への参画風景



ユニフィケーション研修会風景



病棟学習会風景

Unification

Shimane Prefectural Central Hospital



Shimane Prefectural Psychiatric Medical Center

よりよい
看護実践を
めざして



The University of Shimane